



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月6日

東

上場会社名 ヘリオス テクノ ホールディング株式会社 上場取引所
コード番号 6927 URL <https://www.heliostec-hd.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 佐藤 良久
問合せ先責任者（役職名） 執行役員企画室室長（氏名） 中村 誠（TEL）03-6264-9510
半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	4,432	△6.0	249	△43.6	341	△24.3	247	△29.4
2025年3月期中間期	4,714	38.0	441	401.9	451	433.2	350	△71.5

（注）包括利益 2026年3月期中間期 479百万円（125.6%） 2025年3月期中間期 212百万円（△7.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	13.64	—
2025年3月期中間期	19.31	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	23,894	15,845	66.3
2025年3月期	21,169	16,106	76.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 15,845百万円 2025年3月期 16,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	41.00	41.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	61.00	61.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

本日（2025年11月6日）公表の「2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異、
通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	41.8	1,400	55.5	1,500	58.8	1,100	51.0	60.61

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

本日（2025年11月6日）公表の「2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異、
通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社 (社名)ヘリオス テクノ インベストメンツ株式会社、除外 1社 (社名)ー

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	22,806,900株	2025年3月期	22,806,900株
2026年3月期中間期	4,655,233株	2025年3月期	4,659,125株
2026年3月期中間期	18,149,433株	2025年3月期中間期	18,147,824株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2025年11月20日(木)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

当日使用する決算説明資料については、事前に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(セグメント情報)	9
(追加情報)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善などにより、緩やかな回復基調が続いているものの、世界経済は、米国の通商政策などの影響による企業収益の下押し、物価上昇の継続に伴う消費者マインドの下振れなどから、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

また、当社グループの主要マーケットである中国を中心としたアジア市場においても、貿易障壁の拡大を見越した米国関税に備えた前倒し輸出の拡大が見られるものの、中国景気の低迷長期化や米中対立の深刻化を背景に、企業の設備投資意欲の回復までには至っておらず、引き続き予断を許さない状況で推移しました。

このような経営環境のなか、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は、前年同期と比べ2億81百万円(6.0%)減収の44億32百万円となり、営業利益は1億92百万円(43.6%)減の2億49百万円、経常利益は1億9百万円(24.3%)減の3億41百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は1億2百万円(29.4%)減の2億47百万円となりました。

なお、当社は、2025年5月14日開催の当社取締役会において、米国の投資運用会社グループであり当社の大株主でもあるDalton Investments, Inc.、Nippon Active Value Fund Plc. 及びNAVF Select LLC. を代表するRising Sun Management Ltd. (以下、R S M) と業務提携契約(以下、本契約)を締結することについて決議し、同日付で本契約を締結しました。

本契約は、R S Mからの取締役の派遣を通じて、M&Aのソーシング、バリュエーション、ネゴシエーション及びエグゼキューションその他M&Aに関する戦略立案・実行支援、M&Aを通じた当社事業ポートフォリオの拡大、バランスシートの有効活用、当社の100%出資による子会社の設立及び当該会社における投資支援業務をはじめとする当社の企業価値向上に資する施策を推進することにより、当社の持続的な成長を実現することを目的としております。

R S Mは、当社に派遣する業務執行取締役を通じて当社の経営にハンズオンで参画し、当社は、R S Mによる直接の経営参画による支援を受けつつ、M&Aを通じた新規事業の創出と事業ポートフォリオの拡大に取り組んでまいります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。各金額についてはセグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。

① ランプ事業

ランプ事業につきましては、産業用ランプの主力製品である露光装置用光源ユニット用ランプにおいて、引き続き計画を上回る需要があったこと等により、前年同期と比し実績は増収増益となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間において、ランプ事業の売上高は前年同期比47.7%増収の12億62百万円、セグメント利益は、1億99百万円(前年同期はセグメント損失5百万円)となりました。

② 製造装置事業

製造装置事業につきましては、当社グループの主力製品である配向膜印刷装置の一部検収が第3四半期連結会計期間以降に後倒しとなったものの、概ね順調に推移しました。なお、当連結会計年度においては、配向膜印刷装置等の主力製品の出荷・検収が第3四半期連結会計期間以降に集中する見込みとなっており、露光装置用光源ユニットは前年同期に出荷・検収が集中していたことから前年同期と比し実績は減収減益となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間において、製造装置事業の売上高は前年同期比18.1%減収の31億85百万円、セグメント利益は、前年同期比58.2%減の3億38百万円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ22億98百万円増加し、203億20百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が6億44百万円、仕掛品が15億26百万円、前渡金が4億45百万円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が3億2百万円、その他に含まれる未収還付法人税等が2億25百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ4億26百万円増加し、35億74百万円となりました。その主な要因は、投資有価証券が4億8百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ27億25百万円増加(12.9%増)し、238億94百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ29億6百万円増加し、77億13百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が12億42百万円、契約負債が17億28百万円増加した一方、工事損失引当金が1億15百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ79百万円増加し、3億35百万円となりました。その主な要因は、その他に含まれる繰延税金負債が87百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ29億86百万円増加(59.0%増)し、80億48百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億61百万円減少(1.6%減)し、158億45百万円となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金が2億32百万円増加し、親会社株主に帰属する中間純利益を2億47百万円計上した一方、剰余金の配当を7億44百万円行った結果、利益剰余金が4億96百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、当中間連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ9.8ポイント減少し、66.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、16億21百万円の収入(前年同期は5億82百万円の支出)となりました。主な内訳は、税金等調整前中間純利益3億41百万円、棚卸資産の増加額14億95百万円、仕入債務の増加額13億13百万円、契約負債の増加額17億28百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億24百万円の支出(前年同期は19百万円の収入)となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出1億62百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億52百万円の支出(前年同期は8億44百万円の支出)となりました。主な内訳は、配当金の支払額7億44百万円であります。

以上の結果、当中間連結会計期間において、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ6億44百万円増加し、126億57百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績を勘案し、2025年5月9日に公表いたしました2026年3月期通期連結業績予想及び配当予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2025年11月6日)公表の「2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異、通期連結業績予想及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,013,854	12,657,856
受取手形、売掛金及び契約資産	2,410,493	2,108,261
電子記録債権	236,902	320,825
商品及び製品	50,551	100,901
仕掛品	1,861,511	3,388,019
原材料及び貯蔵品	715,923	635,026
前渡金	327,337	773,120
その他	409,967	339,440
貸倒引当金	△4,371	△3,009
流動資産合計	18,022,170	20,320,441
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	640,317	626,707
土地	722,733	722,733
その他（純額）	393,548	459,414
有形固定資産合計	1,756,599	1,808,855
無形固定資産		
その他	31,181	26,987
無形固定資産合計	31,181	26,987
投資その他の資産		
投資有価証券	1,079,200	1,488,000
その他	401,081	348,288
貸倒引当金	△120,890	△97,962
投資その他の資産合計	1,359,390	1,738,326
固定資産合計	3,147,171	3,574,168
資産合計	21,169,342	23,894,610

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	816,507	2,058,794
電子記録債務	68,059	139,201
1年内返済予定の長期借入金	8,580	8,580
未払法人税等	12,986	123,304
契約負債	2,886,598	4,615,441
賞与引当金	217,726	187,101
製品保証引当金	9,746	5,389
工事損失引当金	124,022	8,347
その他	662,647	567,496
流動負債合計	4,806,875	7,713,656
固定負債		
長期借入金	42,125	37,835
その他	213,507	297,305
固定負債合計	255,632	335,140
負債合計	5,062,507	8,048,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,177	2,133,177
資本剰余金	2,572,667	2,575,192
利益剰余金	11,964,861	11,468,297
自己株式	△1,166,575	△1,165,601
株主資本合計	15,504,131	15,011,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	602,703	834,747
その他の包括利益累計額合計	602,703	834,747
純資産合計	16,106,834	15,845,813
負債純資産合計	21,169,342	23,894,610

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,714,109	4,432,404
売上原価	2,880,954	2,840,636
売上総利益	1,833,154	1,591,767
販売費及び一般管理費	1,391,254	1,342,666
営業利益	441,900	249,100
営業外収益		
受取利息	72	2,194
受取配当金	23,100	22,000
補助金収入	—	66,670
雑収入	3,131	7,093
営業外収益合計	26,303	97,958
営業外費用		
支払利息	2,777	747
為替差損	13,119	3,842
支払手数料	237	—
雑損失	578	547
営業外費用合計	16,711	5,137
経常利益	451,492	341,921
特別利益		
固定資産売却益	459	—
投資有価証券売却益	50,193	—
特別利益合計	50,653	—
特別損失		
固定資産除却損	15	230
特別損失合計	15	230
税金等調整前中間純利益	502,130	341,690
法人税、住民税及び事業税	73,167	109,889
法人税等調整額	78,482	△15,692
法人税等合計	151,650	94,196
中間純利益	350,480	247,493
親会社株主に帰属する中間純利益	350,480	247,493

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	350,480	247,493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△137,939	232,044
その他の包括利益合計	△137,939	232,044
中間包括利益	212,541	479,538
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	212,541	479,538
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	502,130	341,690
減価償却費	87,910	85,455
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△109,913	△30,625
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,213	△24,290
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	392	△4,356
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	73,046	△115,675
受取利息及び受取配当金	△23,172	△24,194
補助金収入	—	△66,670
支払利息	2,777	747
投資有価証券売却損益 (△は益)	△50,193	—
固定資産売却損益 (△は益)	△459	—
固定資産除却損	15	230
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	258,022	250,508
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△396,605	△1,495,960
未収入金の増減額 (△は増加)	△248,716	12,797
前渡金の増減額 (△は増加)	11,539	△445,782
仕入債務の増減額 (△は減少)	△833	1,313,428
未払又は未収消費税等の増減額	52,661	△281,172
未払金の増減額 (△は減少)	△66,287	30,745
契約負債の増減額 (△は減少)	25,820	1,728,843
その他	△10,458	3,762
小計	110,888	1,279,482
利息及び配当金の受取額	23,172	24,194
利息の支払額	△2,714	△747
補助金の受取額	—	66,670
法人税等の支払額	△749,203	△3,464
法人税等の還付額	35,801	255,434
営業活動によるキャッシュ・フロー	△582,055	1,621,570
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△61,767	△162,269
有形固定資産の売却による収入	460	—
投資有価証券の売却による収入	73,536	—
非連結子会社株式の取得による支出	—	△70,000
その他	7,008	7,832
投資活動によるキャッシュ・フロー	19,236	△224,436
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000	—
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△5,005	△104,290
自己株式の取得による支出	△73	—
リース債務の返済による支出	△4,186	△4,197
配当金の支払額	△635,175	△744,058
財務活動によるキャッシュ・フロー	△844,439	△752,546
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,180	△585
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,413,438	644,001
現金及び現金同等物の期首残高	11,999,958	12,013,854
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,586,520	12,657,856

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間において、当社が新たに設立したヘリオス テクノ インベストメンツ株式会社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置事業	計		
売上高					
日本	731,491	1,489,318	2,220,810	—	2,220,810
中国	20,382	1,955,438	1,975,821	—	1,975,821
アジア(中国を除く)	72,967	443,642	516,609	—	516,609
その他	—	868	868	—	868
顧客との契約から生じる収益	824,841	3,889,267	4,714,109	—	4,714,109
外部顧客への売上高	824,841	3,889,267	4,714,109	—	4,714,109
セグメント間の内部売上高 又は振替高	29,658	—	29,658	△29,658	—
計	854,500	3,889,267	4,743,767	△29,658	4,714,109
セグメント利益又は損失(△)	△5,308	808,928	803,620	△361,719	441,900

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△361,719千円には、セグメント間取引消去△128千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△361,591千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置事業	計		
売上高					
日本	1,175,649	1,030,699	2,206,348	—	2,206,348
中国	2,908	1,510,999	1,513,907	—	1,513,907
アジア（中国を除く）	68,362	592,043	660,405	—	660,405
その他	—	51,742	51,742	—	51,742
顧客との契約から生じる収益	1,246,919	3,185,484	4,432,404	—	4,432,404
外部顧客への売上高	1,246,919	3,185,484	4,432,404	—	4,432,404
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,222	—	15,222	△15,222	—
計	1,262,142	3,185,484	4,447,626	△15,222	4,432,404
セグメント利益	199,169	338,475	537,644	△288,543	249,100

(注) 1 セグメント利益の調整額△288,543千円には、セグメント間取引消去△13,828千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△274,714千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

(子会社の設立)

当社は、2025年6月17日開催の取締役会において、下記のとおり子会社の設立を決議し、2025年7月1日に設立いたしました。

(1) 目的

当社は、Rising Sun Management Ltd. との間で、業務提携契約（以下、本契約）を締結し、本契約の目的であるM&Aを通じた新規事業の創出と事業ポートフォリオの拡大に向けて、子会社を設立いたしました。

(2) 子会社の概要

会社名	ヘリオス テクノ インベストメンツ株式会社
所在地	東京都中央区日本橋馬喰町一丁目11番10号
事業の内容	他の会社等の株式、持分、事業、営業等の譲渡及び譲受その他の処分、投資及び企業経営に関するコンサルティング、投資の仲介及びあっせん、その他付帯する一切の事業
資本金	25百万円
設立年月	2025年7月1日
出資比率	当社100%